

卒業研究		演習	准教授 黒沢 賢一	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

警察官，消防士，市町村職員などの公務員試験に合格するために必要な知識の分析・習得とそれぞれが受験する地域の特性とまちづくり研究。

2. ゼミのねらい・概要

警察官採用試験は都道府県単位で，消防士採用試験と市町村職員採用試験は市町村単位で行われる。本ゼミでは警察官，消防士，市町村職員をめざす学生を主な対象として，それぞれの試験に合格するために必要な知識を身につけさせ，同時にゼミ生一人ひとりがめざす試験が行われる都道府県，市町村にはどのような特色があり，またそこではどのようなまちづくり，地域づくりが行われているかを政治学，行政学，地方自治の専門的知識をもとに考察，分析していく。

3. ゼミ計画

ゼミでの指導内容は概ね以下の通りだが，ゼミ生の公務員試験受験状況に応じて，指導順序は変更する場合がある。

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 前期ガイダンス(授業予定，注意事項) 公務員試験分析1(志願理由書の書き方) 公務員試験分析2(面接シートの書き方) 公務員試験分析3(適性試験対策) 公務員試験分析4(個別面接対策①) 公務員試験分析5(個別面接対策②) 公務員試験分析6(個別面接対策③) 公務員試験分析7(集団面接対策①) 公務員試験分析8(集団面接対策②) 公務員試験分析9(集団面接対策③) 公務員試験分析10(実戦演習①) 公務員試験分析11(実戦演習②) 公務員試験分析12(実戦演習③) まちづくり研究(卒業論文執筆に向けた準備) 前期まとめ講義 	<p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 後期ガイダンス(研究発表の方法) まちづくり研究発表①(ゼミ生第1グループ) まちづくり研究発表②(ゼミ生第2グループ) まちづくり研究発表③(ゼミ生第3グループ) まちづくり研究発表④(ゼミ生第4グループ) まちづくり研究発表⑤(ゼミ生第5グループ) まちづくり研究発表⑥(ゼミ生第6グループ) まちづくり研究発表⑦(ゼミ生第7グループ) まちづくり研究発表⑧(ゼミ生第8グループ) まちづくり研究発表⑨(各グループ発表の総括) まちづくり研究発表⑩(各グループ発表の総括) 卒業論文指導① 卒業論文指導② 卒業論文最終指導 後期まとめ講義
--	---

※公務員試験は4～9月に行われるので，前期は公務員試験分析，後期はまちづくり研究を重点的に行う。

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

警察官，消防士，市町村職員採用試験に合格するためには，毎日，勉強することが求められる。ゼミで紹介された知識や問題を復習し，その類題を解くためには最低でも毎回3時間以上は必要になる。このほか指定された教材を自力で解いていかなければならず，それぞれが選んだ地域のまちづくり研究の成果発表，論文執筆のための時間も必要になる。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

研究発表時に個別に講評し，レジュメやレポートの返却時に評価のポイントや改善点を指摘する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

- (1)警察官，消防士，市町村職員などの公務員試験の仕組みが理解できるようになる。
- (2)公務員試験に合格するために必要な知識を修得する。
- (3)合格をめざす地域の特性やまちづくりの特色がわかり，それを論文にまとめられるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミへ取り組む姿勢(50%)とレジュメ，レポート，論文の内容(50%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

プリントを配布し，公務員受験に必要な教材や論文執筆のための参考文献等は随時，個別に紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミ生には何よりも自主的に学ぶ姿勢が求められる。

ゼミ中の私語やスマートフォン，イヤホン等の使用は認めない。

他のゼミ生に迷惑となる教室内の秩序を乱す行為については，厳しい態度で臨むので十分注意すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは，地方議会における実務経験(市議会議員)を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。